

# 『生命』を問い直す 『生まれない方がよかった』という思想をめぐる

選択的中絶や尊厳死など生の輪郭が揺らぐなか、生命倫理という知／権力は「生命」の範囲を線引きしてきました。加藤秀一氏は、近著『〈個〉からはじめる生命論』において、障害者が自己の出生を否定するロングフル・ライフ訴訟等を題材に倫理的配慮の対象は誰かを見定め、抽象化された従来の生命論を超えて、「誰々が生きている」という人称性を伴った事実こそ生の真髄があると主張しています。本研究会では、加藤氏をお招きし、これら意欲的な論考をいかに受け取り、どのように考えを進めるかディスカッションをおこないます。

## 【加藤秀一氏の紹介】

1963年東京生まれ。一橋大学社会学部卒業、東京大学大学院社会学研究科満期退学。明治学院大学社会学部教授。専攻は社会学、性現象論  
著書に、『性現象学——差異とセクシュアリティの社会学』（勁草書房）、『〈恋愛結婚とは何をもたらしたか——性道徳と優性思想の百年間』（ちくま新書）、『ジェンダー入門——知らないと恥ずかしい』（朝日新聞社）、共編著に『ジェンダー』の危機を超える！——徹底討論バックラッシュ』（青弓社）、『図解雑学 ジェンダー』（ナツメ社）などがある。

【日時】 2008年9月27日(土) 14時から17時30分まで

【場所】 立命館大学衣笠キャンパス学而館2階 第1研究会室

【定員】 30名

【参加費】 無料

## 【プログラム】

14:00 開会

14:05~14:10 挨拶および講師の紹介：松原洋子（先端総合学術研究科教授）

14:10~14:25 「この本で伝えなかったこと」：加藤秀一氏（明治学院大学社会学部教授）

14:30~14:45 『〈個〉からはじめる生命論』の概略紹介：野崎泰伸（生存学創成拠点PD）

14:50~16:40 指定質問とそれに対する加藤氏の応答

16:40~16:50 休憩

16:50~17:30 全体ディスカッション

17:30 閉会

【参加申し込み】 事前申し込み必要・先着順 締め切り締め切り：8月31日（日）

ただし定員に達した時点で締め切りとさせていただきます。

## 【申し込み方法】

件名に【加藤秀一先生招聘企画参加希望】と記載し、櫻井浩子まで  
(piyopiyo@tt.rim.or.jp)メールにてご連絡ください。

## 【主催】

立命館大学グローバルCOEプログラム「生存学」創成拠点・院生プロジェクト「出生をめぐる倫理研究会」  
立命館大学生存学研究センター

## 【連絡先】

櫻井浩子（先端総合学術研究科生命領域4回生） piyopiyo@tt.rim.or.jp